

石川県原子力環境安全管理協議会 議事概要

1. 日 時：令和6年12月26日（木）10時30分～11時35分
2. 場 所：石川県庁 11階 1102会議室
3. 出席者：委員22名、説明者、事務局他
4. 議事概要：

（1）「志賀原子力発電所の運転状況等」について、北陸電力から説明があった。

（委員）ブローアウトパネルについて、一般の方は馴染みのない言葉なので丁寧に説明していただきたい。原子力災害時の医療体制について、周辺住民の方へは拠点病院や地元の医療等により十分な体制となっていること、発電所内の医療ネットワークは地元の医療関係者に負担をかけるものではないことを県民の方々に理解していただくことに留意してほしい。

（電力）2点について今後も留意していきたい。

（委員）ブローアウトパネルは1号機、2号機で構造が異なるのか。

（電力）寸法の違いはあるが動作原理は同じ。2号機の一部で壁との隙間が確認された。

（委員）地震計は2号機にも設置されているのか。

（電力）2号機には、震度を計測できる地震計（計測震度計）は設置していない。

（委員）放水槽防潮壁基礎部隙間の補修工事完了日が遅いが、補修期間中の対策は。

（電力）仮に水位上昇があっても水が入らないよう土嚢袋等で応急的な対策を実施。

（委員）11月26日の西方沖地震での水位変動はどのぐらいの時間継続したのか。また、許容される水位差は。

（電力）23時から23時23分まで水位変動があった。許容される水位差は上がり側が15m、下がり側が水面から6m程度。

（委員）約1年前に玄海オフサイトセンターで落雷により一週間ほど停電したが、志賀オフサイトセンターの対策はどうなっているのか。

（規制事務所）オフサイトセンターは停電が起こっても非常用ディーゼル発電機から給電できるようになっている。

（2）「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書(案)(令和6年度第2報)」、「志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(令和6年度第1報)」について、事務局から説明があり、協議会として承認された。

（3）「原子力発電所に対する保安検査結果等」について、志賀原子力規制事務所から説明があった。

（委員）ディーゼル発電機の起動失敗について、原因は何だったのか。

（規制事務所）現場操作の手順書に細かい部分の記載がなかったため。

（委員）検査の手法の中で検査官の視点で事象が予見できたかと記載があるが、変圧器の油漏れは予見できるのではないかと油漏れが起こらないよう求めるべき。

（規制事務所）予見できたかどうかは過去の事例や外国の事例を参考に判断。変圧器については、変圧器が原因ではなく発電所外の要因で外部電源が喪失することも考えられることから、変圧器の油漏れ対策ではなく、代替設備として非常用ディーゼル発電機等複数のバックアップ電源を整備することを求めている。そのため、規制庁として変圧器に追加の対策を求めることは考えていない。

（4）令和6年10月11日に開催された協議会の議事概要をホームページ公開していることについて事務局から報告があった。